

科目名		総合英語 I (Comprehensive English I)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第1学年	機械工学科 電気工学科 制御情報工学科 物質工学科 経営情報学科	履修	2単位	—	講義	通年 90分/週	60時間		
担当教員		【常勤】 後川 知美							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	既習の学習内容を踏まえて、語彙を増やしつつ基礎的な英語運用力を身につける: (1)基本的な言語材料を含む、まとまりのある文章を理解できる。 (2)内容に関する質問に英語で答えることができる。 (3)語の強弱や英文の意味のまとまりを意識して発音・音読できる。								
学習・教育目標	(G)	JABEE基準1(2)							
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	My Way English Communication I								
補助教材等	My Way English Communication I ワークブック、G-TECステップアップノート								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	課題 G-TEC	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	40		15	5				100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎			◎				/
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】				○					
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【自主性・自主管理】				○	○				
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>語学力をつけるためには、授業での反復練習と、授業外での予習・復習が大切である。授業の前にあらかじめ教科書に目を通していき、辞書を使って新出単語の意味を調べておく。授業では、間違いを恐れずに大きな声で発音や音読練習をし、ペア練習の際には誰とでも練習を行うなど、自ら積極的に参加して学習をすること。試験の結果だけでなく、授業での口頭発表や態度、レポートの提出状況も成績に関係するので注意すること。なお後期は課題にG-TECの結果を加味して評価する。</p>									

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	はじめに	・シラパスの内容を理解できる。 ・学習の進め方を理解できる。	次回の授業の単語調べと本文確認
2	A Story about Names	強弱をつけて単語の発音ができる。 第1文型と第3文型を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
3	A Story about Names	強弱をつけて単語の発音ができる。 第2文型を用いた英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
4	Shoes for a Dream	強弱をつけて単語の発音ができる。 第4文型を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
5	Shoes for a Dream	強弱をつけて単語の発音ができる。 第5文型を用いた英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
6	Shoes for a Dream	強弱をつけて単語の発音ができる。 比較級・最上級を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
7	Let's Try1	対話練習を通して、「聞き直す」「理由を述べる」表現を理解できる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
8	中間試験		
9	Green Roofs	強弱をつけて単語の発音ができる。 現在進行形を用いた英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
10	Green Roofs	強弱をつけて単語の発音ができる。 現在完了形を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
11	Green Roofs	強弱をつけて単語の発音ができる。 過去完了形を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
12	Pictures of Funny Moments	強弱をつけて単語の発音ができる。 助動詞を用いた英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
13	Pictures of Funny Moments	強弱をつけて単語の発音ができる。 受け身を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
14	Pictures of Funny Moments	強弱をつけて単語の発音ができる。 助動詞のついた受け身を用いた英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
	期末テスト		
15	答案返却・解答解説 これまでの学習事項のまとめ	試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	Writing Systems in the World	強弱をつけて単語の発音ができる。 動名詞を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと 本文確認。各自でワーク ブックや問題集に取り組 む。
17	Writing Systems in the World	強弱をつけて単語の発音ができる。to不定詞の名 詞的用法・副詞的用法を用いた英文を理解でき る。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと 本文確認。各自でワーク ブックや問題集に取り組 む。
18	Writing Systems in the World	強弱をつけて単語の発音ができる。 to不定詞の形容詞的用法を用いた英文を理解で きる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと 本文確認。各自でワーク ブックや問題集に取り組 む。
19	Writing Systems in the World	強弱をつけて単語の発音ができる。 It is...to不定詞を用いた英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと 本文確認。各自でワーク ブックや問題集に取り組 む。
20	Great Ability of Pigeons	強弱をつけて単語の発音ができる。 関係代名詞(主格)を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと 本文確認。各自でワーク ブックや問題集に取り組 む。
21	Great Ability of Pigeons	強弱をつけて単語の発音ができる。 関係代名詞(目的格)を用いた英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと 本文確認。各自でワーク ブックや問題集に取り組 む。
22	Great Ability of Pigeons	強弱をつけて単語の発音ができる。 関係代名詞whatを用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと 本文確認。各自でワーク ブックや問題集に取り組 む。
23	中間テスト		
24	Let's Try	対話練習を通して、「申し出る」「望む」表現を理 解できる。	次回の授業の単語調べと 本文確認。各自でワーク ブックや問題集に取り組 む。
25	The Power of Words	強弱をつけて単語の発音ができる。現在分詞の形 容詞的用法を用いた英文を理解できる。英文内容 について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと 本文確認。各自でワーク ブックや問題集に取り組 む。
26	The Power of Words	強弱をつけて単語の発音ができる。 過去分詞の形容詞的用法を用いた英文を理解で きる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと 本文確認。各自でワーク ブックや問題集に取り組 む。
27	The Power of Words	強弱をつけて単語の発音ができる。 分詞構文を用いた英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと 本文確認。各自でワーク ブックや問題集に取り組 む。
28	The Power of Words	強弱をつけて単語の発音ができる。 分詞構文の付帯状況を確認しながら英文を理解で きる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと 本文確認。各自でワーク ブックや問題集に取り組 む。
29	Vocabulary Building	接頭辞と接尾辞の役割を確認しながら単語を理解 できる。	各自でワークブックや問題 集に取り組む。
	学年末テスト		
30	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解でき る。	
総授業時間数			60時間